

事務事業名		佐野地区交通安全協会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり						担当係	生活安全係	担当課長名	菊地昌之		
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 交通安全意識の高揚						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	1559	一般	2	1	10	佐野地区交通安全協会支援事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S47年度～ 年度		根拠法令 条例等		実施方法	直営					
							事業分類	支援事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野地区交通安全協会に補助金を交付し、同協会が行う交通安全活動を支援している。  ※佐野地区交通安全協会とは、交通安全の推進を目的として、市内の運転免許所有者を会員として構成している団体である。			(市の活動) 佐野地区交通安全協会に補助金の支出を行う。 (佐野地区交通安全協会の活動) 年3回の交通安全運動期間中の街頭啓発及び広報活動、新入学児童にランドセルカバー等の交通安全の啓発品を寄贈、市の交通安全対策事業への参加、赤色灯の設置及び点検 シルバードライビングスクールの開催等							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			団体の活動数	事業	19	19	18	18	18	
			団体の活動規模(啓発活動参加者数)	人	1,360	1,390	1,400	1,400	1,400	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 市民 ② 新入学児童  (交付対象団体) 佐野地区交通安全協会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市民(人口)	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522	
			新入学児童(小学生)	人	942	989	910	910	910	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			① 交通安全に対する意識を高めてもらう。 ② 交通ルールを守ってもらう。							
			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			交通事故件数/市民	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			交通事故件数	件	460	437	540	530	520	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	
	事業費計(A)	千円	1,334	1,334	1,334	1,334	1,334	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	1,334	補助金	1,334	補助金	1,334
	人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
のべ業務時間	時間	40	40	40	40	40		
人件費計(B)	千円	156	158	158	158	158		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,490	1,492	1,492	1,492	1,492		

事務事業名	佐野地区交通安全協会支援事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	交通量の増大に伴い交通事故が増加し、早急な交通安全対策が必要となり、その対策の一環として交通関係団体の支援を行い、協力を得て啓発活動等を実施し、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指して、昭和47年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、東北自動車及び北関東自動車道の開通や大型ショッピングの来店など、交通環境の変化により死亡事故等の重大な事故が増加している。特に、高齢化社会に伴い高齢者が当事者となる交通事故が増加している。また近年は、女性が当事者となる死亡事故が多発し、対策が迫られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助金等検討委員会の委員から、佐野地区二輪車安全普及協会及び佐野地区シルバードライバークラブを佐野地区交通安全協会へ統合するようとの提言があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	会員数を増やすことにより、収入を増やし、市、警察、交通安全関係団体と連携し、啓発活動を充実させれば、成果向上が見込める。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 佐野地区交通安全協会が新入学児童への啓発や交通安全運動期間中に街頭啓発等の事業を実施し、交通安全の啓発を図ることは市民の交通安全意識の高揚を高めるとともに、交通事故の減少に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
市が行わなければならない	理由・改善案 安全・安心のまちづくりの一環として、交通事故防止を図ることは市の重要な責務であるが、市単独で交通事故防止を図るには限度があるため、佐野地区交通安全協会の活動を支援し、協力を得て交通事故の減少を図ることは妥当である。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 この事業は、佐野地区交通安全協会が行う活動を支援し、市民への交通安全啓発及び交通安全意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指す目的で実施しており、対象と意図は合っている。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 交通事故は減少傾向にあるが、街頭啓発等の交通安全対策事業を充実させることで、より向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 佐野地区二輪車安全普及協会 佐野地区二輪車安全普及協会は、二輪車講習会、自転車教室等、バイク、自転車の講習会などを二輪車だけの活動を行っており、他の団体との統合はできない。	
*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 団体の決算書等の活動内容を見直した結果、減額の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業は補助事業のため、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	交通事故減少を図るために交通安全対策の推進が継続される限り、この事業を継続する必要がある。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	会員の理解と協力を得る必要がある。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) より多くの市民に対して交通安全の啓発が図れるよう、交通安全運動期間中の街頭啓発など交通安全対策事業を充実させて実施する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					